8
August 2018
No.746

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 巻頭言（理事　宮井 祐）……3
- 代議員会報告……4
- 理事会報告……9
- 歯の祭典……11
- 歯と口の健康週間……17
- 委員会報告……21
  （総務・医療連携、センター・介護）
- 郡市会報告……23
  （菊池郡市、天草郡市、下益城郡、玉名郡市）
- リレー投稿⑳……25
- 会務報告……26

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

天草市道の駅有明リップルランドに隣接した「四郎が浜ビーチ」です。夏の景色は青い海、青い空、白い砂浜が合います。

（N. Y）

最近の法的規制について

理事　宮 井　　祐

政府の骨太政策の中に歯科についての記述が盛り込まれた、今年の点数改定のなかに「診療情報共有料」が創設され医科歯科の連携がより重要視されるようになってきたりと、最近我々歯科を取り巻く環境が大きく変わりつつある。

これは我々が遵守すべき法令においても然りである。

「水銀に関する水俣条約」の発効に伴う、歯科用水銀の廃棄の問題や、今年２～３月に急遽対応を迫られた「ＰＣＢ含有製品の廃棄処分」の問題もその一つである。毒物であるＰＣＢがまさか身近に、それも歯科用品（レントゲン機器の絶縁体の一部）として使われていたことがあったことを御存知のかたは殆どおられなかったはずです。さらに、その処理に関する法律が平成13年にすでに施行されていたとは「露も知らず」だったに違いない。ＧＣや長田、ヨシダなどのメーカーさえ知らなかったようです。

水銀もＰＣＢも保管する場合は監督官庁に年１回の報告義務を生じる。報告義務を怠った場合、罰則も厳しく、罰金30～1000万または禁固６ヶ月～３年である。また、低濃度ＰＣＢを含む製品の廃棄処理は平成38年までに各自で終わらせねばならない。

そして今年６月に施行された「医療法―医業広告に関する一部改正」である。元々は医科への自由診療に関する苦情―「請求料金が治療前に聞いた金額より高い」等が消費者庁にかなり寄せられていたことがきっかけだ。しかし、歯科に関してもインプラントやホワイトニング等の苦情、訴訟が多くあることを我々は忘れてはならない。

この医業広告の改正の特徴は、その効力が各医院がネット上に挙げている「ホームページ」に及ぶということである。ネット上の「ホームページ」は自院の待合室のようなものと思っていたら、厚労省から「ホームページは院外広告扱いとする」と通告されたということだ。いわく、「治療等の内容または効果について、患者等を誤認させる恐れがある治療等の前または後の写真等の広告をしてはならないこと」（Before-after写真掲載の原則禁止）「習慣または伝聞に基づく、治療等の内容または効果に対する体験談の広告をしてはならないこと」（ホームページに治療を受けた患者さんの感想やコメントの掲載禁止。）その他、自由診療について「審美歯科」「インプラント科」等の実際には診療科として広く認められているわけではない科目の表記の禁止など多岐にわたる。罰則としては、行政指導→立ち入り検査→刑事告発＝6か月以下の懲役または30万円以下の罰金がある。

我々は日々の診療をこなすだけでなく上記のような法令を遵守し配慮しなければならない。現代の我々はかつてより、より一層モラルを守らねばならないのである。

代議員会報告

「骨太方針2018」を追い風に

― 平成30年度　定時代議員会 ―

6月23日（土）午後4時より、県歯会館において、宮本議長・武藤副議長他全議員、浦田会長他全役員出席のもと開催された。

1．開会：渡辺副会長
2．議事録署名人指名：
　椿 賢　議員（熊本市）、
　清村 龍朗　議員（上益城郡）
3．挨拶：浦田会長

6月18日に発生した、大阪府北部地震でお亡くなりになられた方に哀悼の意を表し、被害にあわれた方へお見舞い申し上げます。発災後近畿各県の会長に被害状況の確認を行い、調査途中ですが、現時点において、会員への被害はあまりありませんでした。今後被害が出た時には随時対応していきます。

本日は決算代議員会という事で、平成29年度の決算に対する審議が行われます。先日骨太方針2018が政府により閣議決定されました。日本歯科医師会、日本歯科医師連盟は昨年に比べて、歯科医療に関する文言がなくなるのを避けなければいけないという事で、各方面に働きかけを行ない、3つの方針を打ち出し進めてきました。

1点目は昨年の文言を踏襲するか、より進歩させるという事

2点目は介護、養護、フレイル（虚弱）という言葉が一般的に言われているので、フレイルという概念を国家戦略の中に落とし込む事

3点目はフレイルが医科の臨床現場から上がってくる場合が多いので、それに対する医科歯科連携を進めることを織り込む事

その結果3つの方針すべてにおいて満点の回答を得ました。昨年度は入院患者、要介護者等に対する口腔機能の推進という事で認定されましたが、今年度は入院患者、要介護者等を含む国民に対する口腔機能管理の推進になりました。国民の口腔機能管理を行う事を国が明確に打ち出しました。これにより国民に対する歯科健診事業がより広がる事を期待します。

熊本県に於いては8年前に制定した歯科口腔保健条例を、少し見直す方向で打ち合わせを行っています。国の方針であるフレイル、介護予防等の文言が入るように条例を改定していきます。

その中、自民党県連厚生部会は議会の始まる前に、調整会議を行っています。その場に本会の意見を発言する場として、参加要請がありました。自民党県連の歯科保健事業に対して、本会が意見を言う場が出来、国同様に

県でも様々な面で歯科界に対して追い風が吹いています。追い風を逃さないようしっかりと対応します。
　我々の任期も後１年になりました。今後も先生方の御支援、御協力をお願いします。

４．報告：

⑴　会務報告
　　牛島専務理事
⑵　日歯代議員会報告
　　小島日歯代議員、
　　浦田日歯代議員
⑶　ケイ・デー・エム・ユー報告
　　渡辺代表取締役、八木取締役

５．議事：

第１号議案
　平成29年度会計決算書（案）の承認を求める件
　　決算監査報告　中嶋監事
　　公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告　西野監事

第２号議案
　日歯選挙人及び補欠選挙人選出の承認を求める件

第３号議案
　学院学則の一部改正（案）の承認を求める件

以上すべての議案は承認可決された。

６．事前質問・要望に対する回答：

１．歯科医の需給対策（球磨郡・向江議員）

〔要旨〕

　国試浪人の増加、開業歯科医の過剰、歯科衛生士・技工士不足について、今、歯科医師会はどのような方向に持っていきたいのか教えていただきたい。

〔執行部回答〕

　質問の内容及び提案は、本県だけではなく日本全体の問題と思われます。日歯代議員会等でも質問に挙げられている事案ですので、日歯の見解等の資料を提示し回答とさせていただきます。

２．健診時の各郡市における行政との嘱託契約の現況及び対応（菊池郡市・髙木議員）

〔要旨〕

　乳幼児歯科健診において、嘱託契約の無い市町村では会員がいわば日雇いの立場で出向き健診を行っており、その際の事故等の保証については曖昧な部分が多い。今後の嘱託医契約を推進するために他郡市での現況及び対応についてお伺いしたい。

〔執行部回答〕

　各郡市に嘱託契約に関する現状及び対応についてお尋ねします。

７．協議：

１．財務検討臨時委員会答申書
　　終身会員の在籍年数及び適用年齢の引き上げ、運営安定化のための会費の見直し、70歳以下の会員が特別な事情により閉院した場合の救済措置についての諮問事項に対する答申内容に沿って、代議員より出た意見も踏まえながら、第一に会員の理解と協力を得られるよう努め、執行部で検討していくこととした。

２．後期高齢者歯科口腔健康診査事業
　　平成29年度は目標値は達成できたが、さらに受診率をアップさせるために、歯科医療機関から積極的に受診勧奨を行うとともに、配付のあった産山村で現在使用している様式を参考として、各郡市で各市町村と打合せてもらうこととした。

８．閉会：伊藤副会長

（広報　永廣 有伸）

正味財産増減計算書内訳表

平成29年４月１日から平成30年３月31日まで

（単位：円）

勘定科目	実施事業会計						その他の事業				法人会計	内部取引消去	合計
	学術講演・研修事業	地域保健事業	歯科衛生士の育成事業	社会的弱者支援事業	実施共通	小計	収益事業(販売収入・保険手数料)	福利厚生事業	その他共通	小計	法人会計	内部取引消去	
Ⅰ　一般正味財産増減の部													
１．経常増減の部													
(1)　経常収益													
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,736	0	18,736
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,736	0	18,736
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	740,000	0	740,000
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	740,000	0	740,000
受取会費	0	776,000	0	0	0	776,000	0	0	0	0	120,669,247	0	121,445,247
受取会費	0	776,000	0	0	0	776,000	0	0	0	0	120,669,247	0	121,445,247
事業収益	0	231,200	92,961,000	21,128,767	0	114,320,967	23,586,149	41,890,000	0	65,476,149	0	0	179,797,116
学生生徒納付金収益	0	0	91,300,000	0	0	91,300,000	0	0	0	0	0	0	91,300,000
医業収益	0	0	0	21,128,767	0	21,128,767	0	0	0	0	0	0	21,128,767
手数料収益	0	231,200	1,661,000	0	0	1,892,200	14,596,133	0	0	14,596,133	0	0	16,488,333
事業収益	0	0	0	0	0	0	8,990,016	41,890,000	0	50,880,016	0	0	50,880,016
受取補助金等	80,000	7,199,764	565,000	7,421,828	0	15,266,592	3,792,600	5,100,000	0	8,892,600	39,779,904	0	63,939,096
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	3,792,600	0	0	3,792,600	0	0	3,792,600
受取県市補助金	0	4,829,764	15,000	7,421,828	0	12,266,592	0	0	0	0	36,792,904	0	49,059,496
その他の補助金収益	80,000	2,370,000	550,000	0	0	3,000,000	0	5,100,000	0	5,100,000	2,987,000	0	11,087,000
受取負担金	336,000	465,000	0	0	0	801,000	0	2,907,000	0	2,907,000	624,000	0	4,332,000
受取負担金	336,000	465,000	0	0	0	801,000	0	2,907,000	0	2,907,000	624,000	0	4,332,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,682	0	48,682
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,682	0	48,682
雑収益	315,000	1,404,132	250,063	441,606	0	2,410,801	11,254	2,617,119	0	2,628,373	1,519,415	−600,000	5,958,589
受取利息	0	12,462	16,849	662	0	29,973	971	52,119	0	53,090	88,766	0	171,829
広告費収益	265,000	1,075,000	0	0	0	1,340,000	0	0	0	0	640,000		1,980,000
校舎使用料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	600,000	−600,000	0
雑収益	50,000	316,670	233,214	440,944	0	1,040,828	10,283	2,565,000	0	2,575,283	190,649	0	3,806,760
他会計からの繰入収益	0	2,123,400	0	6,939,391	0	9,062,791	0	3,202,860	0	3,202,860	1,513,662	−13,779,313	0
他会計からの繰入額	0	2,123,400	0	6,939,391	0	9,062,791	0	3,202,860	0	3,202,860	1,513,662	−13,779,313	0
経常収益計	731,000	12,199,496	93,776,063	35,931,592	0	142,638,151	27,390,003	55,716,979	0	83,106,982	164,913,646	−14,379,313	376,279,466
(2)　経常費用													
事業費	16,408,589	44,565,568	96,992,944	53,065,319	0	211,032,420	26,221,811	58,800,827	0	85,022,638	0	−600,000	295,455,058
役員報酬	1,987,200	3,643,200	2,040,000	441,600	0	8,112,000	1,656,000	552,000	0	2,208,000	0	0	10,320,000
給与手当	6,488,060	8,890,742	44,327,720	26,296,184	0	86,002,706	8,857,364	720,895	0	9,578,259	0	0	95,580,965
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	4,500	0	0	4,500	0	0	4,500
退職給付費用	0	0	1,648,001	12,205	0	1,660,206	147,000	0	0	147,000	0	0	1,807,206
賞与引当金繰入額	0	0	2,137,756	283,680	0	2,421,436	261,000	0	0	261,000	0	0	2,682,436
法定福利費	0	0	5,273,752	737,106	0	6,010,858	565,496	0	0	565,496	0	0	6,576,354
福利厚生費	1,322,500	1,763,333	827,551	526,240	0	4,439,624	1,179,079	5,803,985	0	6,983,064	0	0	11,422,688
教育費	0	0	19,727,286	0	0	19,727,286	0	0	0	0	0	0	19,727,286
広告宣伝費	81,000	1,188,000	0	0	0	1,269,000	120,000	0	0	120,000	0	0	1,389,000
会議費	2,401,300	4,898,290	3,420,948	1,045,300	0	11,765,838	1,540,732	246,900	0	1,787,632	0	0	13,553,470
診療原価費	0	0	0	2,430,413	0	2,430,413	0	0	0	0	0	0	2,430,413
研修費	1,654,365	1,488,692	0	2,557,909	0	5,700,966	0	388,155	0	388,155	0	0	6,089,121
旅費交通費	2,019,399	4,836,898	2,584,710	1,067,414	0	10,508,421	386,056	799,065	0	1,185,121	0	0	11,693,542
通信運搬費	16,503	458,981	1,492,141	296,671	0	2,264,296	673,617	26,150	0	699,767	0	0	2,964,063
減価償却費	0	0	3,926,571	13,109,543	0	17,036,114	907,050	0	0	907,050	0	0	17,943,164
消耗品費	24,466	1,593,265	5,303,472	891,266	0	7,812,469	496,836	1,493,355	0	1,990,191	0	0	9,802,660
修繕費	0	0	0	227,988	0	227,988	70,774	0	0	70,774	0	0	298,762
印刷製本費	181,440	5,074,697	1,727,352	266,160	0	7,249,649	4,341,821	693,460	0	5,035,281	0	0	12,284,930
光熱水費	0	0	0	1,320,607	0	1,320,607	735,600	0	0	735,600	0	0	2,056,207
貸借料	325,301	125,424	600,000	0	0	1,050,725	240,056	847,519	0	1,087,575	0	−600,000	1,538,300
保険料	0	14,000	0	60,980	0	74,980	3,000	5,384,635	0	5,387,635	0	0	5,462,615
諸謝金	0	222,740	0	0	0	222,740	0	0	0	0	0	0	222,740
租税公課	0	0	0	0	0	0	2,744,230	0	0	2,744,230	0	0	2,744,230
支払負担金	256,000	614,500	1,580,668	21,000	0	2,472,168	247,000	36,465,000	0	36,712,000	0	0	39,184,168
支払助成金	0	8,690,000	0	0	0	8,690,000	0	550,000	0	550,000	0	0	9,240,000
委託費	0	695,680	0	1,073,265	0	1,768,945	727,080	0	0	727,080	0	0	2,496,025
渉外費	0	757,274	0	0	0	757,274	250,000	4,019,350	0	4,269,350	0	0	5,026,624
雑費	0	42,611	375,016	399,788	0	817,415	67,520	895,436	0	962,956	0	0	1,780,371
収益負担分	−348,945	−432,759	0	0	0	−781,704	0	−85,078	0	−85,078	0	0	−866,782

正味財産増減計算書内訳表

平成29年４月１日から平成30年３月31日まで

（単位：円）

勘定科目	実施事業会計						その他の事業				法人会計	内部取引消去	合計
	学術講演・研修事業	地域保健事業	歯科衛生士の育成事業	社会的弱者支援事業	実施共通	小計	収益事業(販売収入・保険手数料)	福利厚生事業	その他共通	小計	法人会計	内部取引消去	
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114,163,869	0	114,163,869
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,760,000	0	2,760,000
給与手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,378,676	0	12,378,676
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	855,000	0	855,000
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,519,415	0	1,519,415
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	0	30,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,571,523	0	2,571,523
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47,800	0	47,800
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,913,201	0	7,913,201
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,800	0	48,800
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36,699,789	0	36,699,789
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,279,038	0	3,279,038
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,167,102	0	15,167,102
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,056,046	0	2,056,046
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	579,825	0	579,825
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,110,882	0	3,110,882
光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,713,752	0	1,713,752
貸借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,600,382	0	1,600,382
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,296	0	32,296
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,064,200	0	6,064,200
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	614,000	0	614,000
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,047,841	0	6,047,841
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,360,040	0	1,360,040
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,525,137	0	4,525,137
渉外費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,265,095	0	7,265,095
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	497,454	0	497,454
収益負担分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	−4,573,425	0	−4,573,425
他会計への繰出額	0	513,662	625,000	0	0	1,138,662	0	1,000,000	0	1,000,000	11,640,651	−13,779,313	0
他会計への繰出額	0	513,662	625,000	0	0	1,138,662	0	1,000,000	0	1,000,000	11,640,651	−13,779,313	0
経常費用計	16,408,589	45,079,230	97,617,944	53,065,319	0	212,171,082	26,221,811	59,800,827	0	86,022,638	125,804,520	−14,379,313	409,618,927
評価損益等調整前当期経常増減額	−15,677,589	−32,879,734	−3,841,881	−17,133,727	0	−69,532,931	1,168,192	−4,083,848	0	−2,915,656	39,109,126	0	−33,339,461
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	−15,677,589	−32,879,734	−3,841,881	−17,133,727	0	−69,532,931	1,168,192	−4,083,848	0	−2,915,656	39,109,126	0	−33,339,461
２．経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
退職給付引当金戻入益	46,330	61,773	0	15,443	0	123,546	38,608	5,148	0	43,756	90,087	0	257,389
退職給付引当金戻入益	46,330	61,773	0	15,443	0	123,546	38,608	5,148	0	43,756	90,087	0	257,389
経常外収益計	46,330	61,773	0	15,443	0	123,546	38,608	5,148	0	43,756	90,087	0	257,389
(2) 経常外費用													
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8
当期経常外増減額	46,330	61,773	0	15,443	0	123,546	38,608	5,148	0	43,756	90,079	0	257,381
税引前当期一般正味財産増減額	−15,631,259	−32,817,961	−3,841,881	−17,118,284	0	−69,409,385	1,206,800	−4,078,700	0	−2,871,900	39,199,205	0	−33,082,080
当期一般正味財産増減額	−15,631,259	−32,817,961	−3,841,881	−17,118,284	0	−69,409,385	1,206,800	−4,078,700	0	−2,871,900	39,199,205	0	−33,082,080
一般正味財産期首残高	−84,470,350	−146,698,163	112,329,263	33,652,700	0	−85,186,550	13,101,309	118,681,621	0	131,782,930	1,705,466,227	0	1,752,062,607
一般正味財産期末残高	−100,101,609	−179,516,124	108,487,382	16,534,416	0	−154,595,935	14,308,109	114,602,921	0	128,911,030	1,744,665,432	0	1,718,980,527
Ⅱ 指定正味財産増減の部													
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	−100,101,609	−179,516,124	108,487,382	16,534,416	0	−154,595,935	14,308,109	114,602,921	0	128,911,030	1,744,665,432	0	1,718,980,527

貸 借 対 照 表

平成30年 3 月31日現在

（単位：円）

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金	305,779,446	318,987,323	−13,207,877
現金	16,580	0	16,580
普通預金	245,762,866	258,987,323	−13,224,457
肥後銀行（メイン）	4,159,039	36,105,561	−31,946,522
肥後銀行（共済）	72,635,808	71,010,399	1,625,409
肥後銀行（学院）	66,486,519	71,799,189	−5,312,670
肥後銀行（センター）	1,282,968	1,215,896	67,072
肥後銀行（労保）	4,674,588	4,940,895	−266,307
肥後銀行（産業歯科）	3,103,398	2,966,694	136,704
肥後銀行（健康週間）	443,056	435,186	7,870
肥後銀行（販売・手数料）	12,594,444	6,552,822	6,041,622
肥後銀行（資金調整基金）	11,322,232	11,322,232	0
肥後銀行（健康文化賞）	101,518	113,089	−11,571
肥後銀行（運営基金）	9,200,000	9,200,000	0
肥後銀行（運用基金）	2,546,514	3,547,020	−1,000,506
肥後銀行（日歯諸会費）	10,019,500	10,132,000	−112,500
肥後銀行（九地連）	472,000	572,000	−100,000
みずほ銀行	207,284	208,254	−970
商工中金	106,327	106,973	−646
熊本第一信用金庫	20,003,148	3,089	20,000,059
肥後銀行（義援金）	26,404,523	28,756,024	−2,351,501
定期預金	60,000,000	60,000,000	0
熊本第一信用金庫（資金調整基金）	60,000,000	60,000,000	0
未収金	25,420,449	17,351,586	8,068,863
前払金	5,092,448	4,781,772	310,676
商品	1,367,339	1,451,997	−84,658
流動資産合計	337,659,682	342,572,678	−4,912,996
2　固定資産			
(1)　基本財産			
土地（一般）	614,400,710	614,400,710	0
土地１（一般）	30,050,000	30,050,000	0
土地２（一般）	29,080,000	29,080,000	0
土地３（一般）	142,713,032	142,713,032	0
土地４（一般）	42,560,428	42,560,428	0
土地５（一般）	369,997,250	369,997,250	0
基本財産合計	614,400,710	614,400,710	0
(2)　特定資産			
共済互助基金　定期預金	84,724,833	83,724,833	1,000,000
熊本第一信用金庫	72,724,833	72,724,833	0
肥後銀行	12,000,000	11,000,000	1,000,000
入会金積立金　定期預金	91,755,062	91,755,062	0
肥後銀行	91,755,062	91,755,062	0
基本財産積立金　定期預金	125,001,343	125,001,125	218
法人（肥後）	88,497,534	88,497,534	0
学院（肥後）	35,477,796	35,477,796	0
センター（肥後）	12,914	12,911	3
労保（肥後）	1,013,099	1,012,884	215
償却資産積立金　定期預金	53,974,492	52,971,238	1,003,254
熊本第一信用金庫	38,625,445	37,625,445	1,000,000
学院（肥後）	13,408,614	13,405,771	2,843
センター（肥後）	1,940,433	1,940,022	411
役員退職積立金　定期預金	853,194	1,817,879	−964,685
法人（肥後）	710,950	1,535,635	−824,685
学院（肥後）	142,244	282,244	−140,000
退職死亡給付積立金　定期預金	48,055,245	53,740,322	−5,685,077
法人（肥後）	23,020,882	20,491,897	2,528,985
学院（肥後）	21,314,655	29,656,477	−8,341,822
センター（肥後）	1,231,692	1,104,458	127,234
労保（肥後）	2,488,016	2,487,490	526
くまもと歯の健康文化賞　定期預金	15,000,000	15,000,000	0
熊本第一信用金庫	15,000,000	15,000,000	0
特定資産合計	419,364,169	424,010,459	−4,646,290
(3)　その他固定資産			
建物	386,382,099	397,347,173	−10,965,074
建物・本館	96,029,450	98,184,725	−2,155,275
建物・分館	216,884,525	223,838,879	−6,954,354
建物・分館増設	73,468,124	75,323,569	−1,855,445
建物附属設備	33,497,717	36,816,160	−3,318,443
建物附属設備・本館	17,994,338	21,394,012	−3,399,674
建物附属設備・分館	14,026,470	13,634,940	391,530
建物附属設備・分館増設	1,476,909	1,787,208	−310,299
器具・備品	59,721,204	63,545,615	−3,824,411
器具備品・本会	30,667,297	41,430,532	−10,763,235
器具備品・学院	23,815,301	14,175,914	9,639,387
器具備品・センター	5,238,606	7,939,169	−2,700,563
出資金	3,010,000	3,010,000	0
電話加入権	539,424	539,424	0
貸付金	3,400,000	4,400,000	−1,000,000
その他固定資産合計	486,550,444	505,658,372	−19,107,928
固定資産合計	1,520,315,323	1,544,069,541	−23,754,218
資産の部合計	1,857,975,005	1,886,642,219	−28,667,214

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　減
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金	18,487,698	11,881,690	6,606,008
未払消費税等	643,100	0	643,100
未払法人税等	568,200	81,000	487,200
前受金	49,562,000	42,034,838	7,527,162
授業料前受金	31,500,000	27,999,838	3,500,162
入学金前受金	18,000,000	13,800,000	4,200,000
諸口	62,000	235,000	−173,000
預り金	16,853,584	17,736,086	−882,502
会費	79,607	1,766	77,841
所得税	577,825	655,262	−77,437
日歯年金	3,670,000	3,740,000	−70,000
日歯福祉共済	6,349,500	6,392,000	−42,500
火災共済	658,196	158,179	500,017
生保・クレジット	3,238,276	379	3,237,897
社会保険料	1,606,680	0	1,606,680
九地連会費	472,000	572,000	−100,000
諸口	201,500	6,216,500	−6,015,000
賞与引当金	4,201,851	4,762,670	−560,819
賞与引当金（法人）	1,519,415	1,702,054	−182,639
賞与引当金（学院）	2,137,756	2,520,533	−382,777
賞与引当金（センター）	283,680	281,920	1,760
賞与引当金（労保）	261,000	258,163	2,837
流動負債合計	90,316,433	76,496,284	13,820,149
2　固定負債			
退職給付引当金	48,678,045	58,083,328	−9,405,283
退職給付引当金（法人・役員）	641,250	1,496,250	−855,000
退職給付引当金（法人・職員）	22,561,759	22,819,148	−257,389
退職給付引当金（学院・役員）	104,999	209,998	−104,999
退職給付引当金（学院・職員）	21,399,479	29,746,579	−8,347,100
退職給付引当金（センター）	871,720	859,515	12,205
退職給付引当金（労保）	3,098,838	2,951,838	147,000
固定負債合計	48,678,045	58,083,328	−9,405,283
負債の部合計	138,994,478	134,579,612	4,414,866
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産			
2　一般正味財産	1,718,980,527	1,752,062,607	−33,082,080
正味財産の部合計	1,718,980,527	1,752,062,607	−33,082,080
負債及び正味財産合計	1,857,975,005	1,886,642,219	−28,667,214

理事会報告

代議員会議長・副議長も出席され、議案等について協議

― 第14回理事会 ―

６月６日（水）午後７時より県歯会館において、浦田会長他全役員、宮本代議員会議長と武藤代議員会副議長出席のもと開催された。

１．開会：渡辺副会長
２．挨拶：浦田会長

本日は梅雨で足元の悪いなか、ご参集いただきありがとうございます。また定時代議員会前ということで議長と副議長にもご出席いただきまして議案等についてご協議いただきます。慎重審議及び円滑な議事運営にご協力をお願いいたします。

ところで、６月は水無月といいます。同様に「無」と付く月が10月の神無月です。一説には、神様が出雲大社に集まるので、出雲では神有月、その他の地域では神無月となるのだと聞いたことがありました。しかし、６月なのに何故水が無いのだと疑問に思い調べてみましたところ、「無」というのは連体助詞で、「の」という意味になるそうです。つまり、水無月とは「水の月」、神無月とは「神の月」ということになります。さらに、陰暦で６月は田に水を引く月なので、水の月となるということです。我々の任期も６月に入り、あと一年となります。残りの任期も、熊本県歯科医師会という田を耕し、水を引いて、実り多い一年となるよう頑張りましょう。

３．議長選出：浦田会長
４．議事録署名人：中嶋監事、西野監事、浦田会長
５．平成30年度会務報告：
（自：５月21日～至：６月３日）
本会総務：理事会、財務検討臨時委員会
社会保険：社会保険、学術、医療対策、センター・介護合同研修会
地域保健：歯と口の健康週間「図画・ポスター、習字、標語」審査
広　　報：ＮＨＫテレメッセ打合せ
医療対策：医療相談・苦情事例報告
総務・医療連携：有明成仁病院との病診連携覚書き締結
以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：
１．後期高齢者歯科口腔健康診査事業研修会
各郡市及び本会で開催予定の日程について報告がなされた。次年度は開催件数をさらに増やす予定である。
２．財務検討臨時委員会答申書
終身会員の在籍年数及び適用年齢の引き上げ、運営安定化のための会費の見直し、70歳以下の会員が特別な事情により閉院した場合の救済措置についての諮問事項に対する答申内容の報告がなされた。
３．事業実施報告書
● ４月末がん及び回復期の医科歯科連携事業報告書の様式について今後検討を行う。
４．５月末会計現況（平成29年度・30年度）
５．その他
● 日歯報告（都道府県会長会議）
口腔機能管理による医療費の削減、「口腔ケア」の定義と「口腔健康管理」の位置付けについて報告がなされた。
● 支払基金が実施する審査事務の集約化に向けた実証テスト
７月10日から９月７日まで福岡・佐賀・熊本支部で行う実証テストについて、診療報酬請求書は従来どおりの提出方法で構わないこととなった。

7．連絡事項：
　1．7月行事予定
8．承認事項：
9．議題：
　1．平成29年度一般社団法人熊本県歯科医師会会計決算（案）〔承認〕
　　原案どおり承認し、定時代議員会へ議事として提出することとした。
　2．平成30年度定時代議員会の運営並びに日程資料〔承認〕
　　運営並びに日程資料について承認した。
　3．平成30年度定時代議員会協議事項の表題記載及び提出資料〔承認〕
　　協議事項において、財務検討臨時委員会答申書と後期高齢者歯科口腔健康診査事業の表題記載及び提出資料について承認した。
　4．平成30年度定時代議員会事前質問に対する回答〔承認〕
　　回答内容について承認した。
　5．事務局職員人事考課制度の見直し〔承認〕
　　担当役員の評価の導入について承認した。なお、平成30年上期の人事考課から導入する。
　6．笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベントへの「熊本市8020健康づくりの会」からの企画の提供
　　本会以外の主催である熊本日日新聞社、協力企業の花王に確認・調整した後、本会であらためて協議する。
10．協議事項：
　1．歯及び口腔の健康づくり推進条例改正の提案書
　　追加修正等があれば、牛島専務理事に連絡することとした。
　2．駐車許可証の発行
　　前回の発行より年数が経っているため、会員１名につき１枚発行し配布することとした。
11．監事講評：
　中嶋監事より、医科歯科医療連携が進む中、郡市によってはまだまだ広まっていないので、郡市と協議を重ねてしっかりと進めてほしいと要望された。
12．閉会：小島副会長

（理事　竹下 憲治）

報告

「平成30年７月豪雨」の災害対応

西日本の広い範囲で発生した「平成30年７月豪雨」では、多くの方々が犠牲になられ、また不自由な避難生活を余儀なくされておられます。お悔みとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願います。

すでに避難所における支援活動が地元歯科医師会を中心に始まっており、各県からの要望に基づいて、本県において備蓄していた支援物資を送りました。私達が熊本地震の際に頂いた支援や経験が必要な場所で活かせれば良いと考えております。

会員の先生方には、経過を逐次ご報告させていただきます。

（専務理事　牛島 隆）

歯の祭典

たくさんの受賞者の来場があった

6月10日（日）午後1時より県歯会館4階ホールにて、歯と口の健康週間事業「歯の祭典」が開催された。参加者は約190人で会場は、ほぼ満席であった。司会を地域保健委員会の高水間副委員長が担当し、渡辺副会長の開会の辞で幕を開けた。

まず、主催者を代表して浦田会長と県健康福祉部健康づくり推進課の新谷課長より挨拶があった。浦田会長は挨拶の中で従来のむし歯・歯周病の治療から全身の治療にシフトしていること、歯と口の健康が全身の健康につながって、健康寿命を延ばす大きな役割を果たしていることなどを述べられた。また、新谷課長からは受賞者への祝辞、実行委員への謝辞に加え、フッ化物洗口の普及や8020の達成と全身の健康などについて話された。

渡辺副会長の開会の辞

浦田会長の挨拶

続いて来賓者の紹介後、表彰式に移り、最初に田上常務理事から「くまもと歯の健康文化賞」を受賞された2つの団体の審査経過報告があり、その後、表彰および以下の通り活動報告があった。

まず「天草市立河浦小学校」の報告では、養護教諭より平成27年度からの2年間、研究主題「歯・口の健康について自ら気づき、考え、実践する児童の育成」のもと、歯と口の健康づくりに取り組んだ結果、むし歯保有率の著しい低下および、むし歯治療率の上昇が得られたこと等の報告があった。

新谷県課長の挨拶

それから、「歯っぴーサークル」の報告では、九州看護福祉大学口腔保健学科の学生代表者より主に玉名地域における歯科保健衛生の向上および推進のためサークルを通して口腔保健に関するボランティア活動、地域住民に対して口腔保健活動などの生活支援を行っている等の報告があった。

その後、「高齢者のよい歯のコンクール」の表彰が行われた。8020達成者の中で特に優秀な方を県下全域から選出し、今年の入賞者は、熊本県知事賞1人、熊本県歯科医師会賞3人、8020優秀賞6人の計10人であった。その内、出席された6人が表彰を受けられた。

次に歯・口の健康に関する「図画・ポスター・習字」ならびに「歯・口の健康啓発標語」の表彰式が行われた。これらの部門には熊本県知事賞、熊本県教育委員会賞、熊本県歯科医師会賞の3つの賞があり、それぞれ小学1年生から6年生までの39人（標語は各賞1人ずつ）の子供たちが表彰された。表彰時、少し緊張気味な子供達とその姿を写真やビデオに収めようとする保護者の一生懸命な様子が微笑ましく印象的であった。

牛島専務理事の閉会の辞

なお、例年だと「歯の祭典」の名物コーナーであるクイズ「ヒロちゃんコーナー」が行われ、大林理事の巧妙なマイクパフォーマンスと昨今の話題を取り入れたクイズで盛り上がるところだが、今回は、事情により行われなかった。しかし、来場者（特に子供達）を考慮して時間短縮して早めに終了するのも一つの良い選択ではないかと思った。

最後に牛島専務理事より閉会の辞があり、今年の「歯の祭典」も盛会のうちに幕を閉じた。

（地域保健　二宮 健郎）

熱心に報告のスライドを見ている参加者

8020達成おめでとうございます

表彰に緊張する児童

高齢者のよい歯のコンクール

熊本県知事賞　玉名郡市　清田　二枝 様

受賞の感想

　このようなすばらしい賞をいただいて大変うれしく思います。

普段の生活で気をつけていること

　食後の歯みがきと毎日の早寝、早起き、ラジオ体操を心掛けています。

これからも歯を大切にしてください

第23回「高齢者のよい歯のコンクール」入賞者

審査日：平成30年５月21日(月)

審　査　結　果	郡　市　名	氏　　名	生年月日	年齢
熊本県知事賞	玉　名　郡　市	清　田　二　枝	S12. 2.15	81
熊本県歯科医師会賞	熊　　本　　市	野　尻　タヅコ	S 7.10.13	85
熊本県歯科医師会賞	阿　蘇　郡　市	小座本　美江子	S11. 9. 9	81
熊本県歯科医師会賞	球　　磨　　郡	中　村　榮一郎	S13. 3.17	80
8020優秀賞	天　草　郡　市	高　田　ミツエ	T13.11. 1	93
8020優秀賞	八　　代	福　永　ケイ子	S 9. 7. 8	83
8020優秀賞	宇　土　郡　市	奥　村　幸　子	S10. 4. 2	83
8020優秀賞	水俣・芦北郡市	牧　尾　朝　子	S11. 2.20	82
8020優秀賞	天　草　郡　市	杉　本　須々喜	S11. 7.14	81
8020優秀賞	菊　池　郡　市	古　賀　勝　士	S12.11.16	80

（※敬称略）

くまもと歯の健康文化賞

団体の部　天草市立河浦小学校 様

受賞の感想

この度は、このような賞をいただき、誠にありがとうございます。

子どもたちと日常生活の中で取り組んできたことが、このようなかたちで評価されることは、とても嬉しいことです。

今後は、この受賞を機に、子ども・保護者・地域の方々へ歯の健康についての指導・支援ならびに啓発を継続してまいりたいと思います。

審査評価

天草市立河浦小学校は、平成27年度からの２年間、研究指定を受け、研究主題「歯・口の健康について自ら気付き、考え、実践する児童の育成」のもと、歯と口の健康づくりに取り組んだ。平成29年度は研究成果を生かし、児童主体の活動を中心に取り組みを続けている。

歯と口の健康づくりのために「授業づくり」、「日常指導」、「家庭・地域・関係機関との連携」の３つの柱を掲げ、学校歯科医の助言を受けながら、全教職員が実践的研究に携わった。「授業づくり」では、指導計画等の作成と学級活動で年２回の取り扱い、自己を見つめる資料活用の工夫、問題解決的な学習の工夫、ICTの活用、板書及び学習シートの工夫、TTの活用を図っている。「日常指導」では、給食後の一斉歯みがきや、業間を活用した染めだし、CO・GO児童への個別指導、体験的掲示物の作成等の環境整備の充実を図った。「家庭・地域・関係機関との連携」では、保育所での児童による啓発活動や教職員による歯みがき指導、学校歯科医による歯みがき教室や歯科衛生士によるブラッシング指導の実施、児童主体の保護者向けの拡大、学校保健委員会の開催、「歯ッピー銀行」（歯・口の健康によい行動をすると歯ッピーコインが貯まっていく）の開設・運用等、家庭・地域とともに歯・口の健康づくりを推進してきた。

その結果、平成29年度のむし歯保有率は、乳歯・永久歯ともに合せて22.4%であり、研究前の45.8%と比較すると半分以下に低下した。さらに、保護者の関心も高まったことから、むし歯治療率も上昇し、平成28年度は100%を達成した。

このように、当該小学校における歯科保健衛生の向上及び推進に顕著な業績が認められるため、受賞を決定した。

なお、今後は取り組みが当該小学校から地域社会における更なる歯科保健の向上及び推進へ展開することを期待する。例えば、「歯ッピー銀行」において、コインを貯めるだけでなく、コインを地域での体験学習等に交換できるような仕組みを作ることで、児童が地域社会へ参加する機会を得るような活動に展開すれば幸甚である。

団体の部　歯っぴーサークル 様

受賞の感想

本日は、「くまもと歯の健康文化賞」というすばらしい賞をいただき、本当にうれしく思います。

私たちは、今まで地域の方や熊本地震の被災地ボランティア等を行ってきましたが、今回表彰をしていただいたことで、多くの方に知ってもらえ、活動をしていくことができればうれしく思います。

今後も、学生が中心となり私たち卒業生も後方支援を行いながら活発に、そしてより一層がんばっていきたいです。

本当にありがとうございました。

審査評価

歯っぴーサークルは、平成26年に結成された九州看護福祉大学口腔保健学科の有志の学生から成る団体で、地域住民と交流を図りながら様々な健康観や価値観を学び、口腔保健活動を行う事を目的として、口腔保健に関するボランティア活動、地域住民に対して口腔保健活動を通した生活支援、口腔保健活動を実施するための資料や媒体の作成といった活動を行っている。

平成26年度は、玉東町フッ化物洗口事業ボランティア、玉名市食育フェアにおける口腔保健啓発活動、高齢者施設における交流及び口腔保健啓発活動を行い、平成27年度は、玉名市よい歯の広場における地域住民との交流および口腔保健啓発活動、高齢者施設・障害者施設や長洲町金魚と鯉の郷まつりにおける交流および口腔保健啓発活動を行った。

さらに平成28年度には、各所における地域住民との交流および口腔保健啓発活動の他、熊本地震避難所における食事支援、口腔清掃用具の配布、肺炎予防啓発活動、傾聴、足湯やマッサージ、被災者交流サロン、人権擁護団体との意見交流、被災地小学校における学習支援と口腔保健啓発活動を行い、平成29年度は、被災地小学校における学習支援と口腔保健啓発活動、被災地仮設住宅における高齢者との交流等の災害支援活動を行った。

これらの地域に密着した活動により、将来と関連した専門性の経験を積み、地域によって学生が育てられるとともに学生が地域住民に対して新鮮な口腔保健の視点を与えられた。また、災害支援活動においては口腔保健活動や交流を通してポジティブな感情を引き出す契機や地域交流の活性化につながった。

このように当該サークルは、主に玉名地域における歯科保健衛生の向上及び推進に顕著な業績が認められるため、受賞を決定した。

なお、今後は、当該サークルのメンバーが、同学科の学生だけに限らず、他学科・他大学の学生、他団体関係者で構成されるようになることで、口腔保健活動が多分野に渡って広く展開し、これから益々ご活躍されることを期待する。

熊本県知事賞

図画・ポスターの部

平野 竜聖　様（５年）　　橋村 李央菜　様（３年）

習字・標語の部

北川 礼恩　様（１年）　　萩田 朋子　様（６年）　　江上 穂香　様（４年）

堀田 萌衣　様（１年）　　前田 みゆ　様（２年）　　松崎 琉愛　様（３年）

※熊本県知事賞の作品は、熊本県歯科医師会のホームページに審査員のコメント付きで掲載されています。

熊本県教育委員会賞

図画・ポスターの部

藤芳 心陽　様（6年）　森元 泉智　様（5年）　池田 有芙　様（4年）

堀本 祐心　様（3年）　林田 大夢　様（2年）　林　充希　様（1年）

習字・標語の部

尾方 海來　様（5年）　元田 紗梗子　様（4年）

米丸 睦望　様（3年）　櫛山　仁　様（2年）　川内 咲希　様（1年）

熊本県歯科医師会賞

図画・ポスターの部

福田 夏輝　様（5年）　石橋 咲枝　様（4年）

木村 未來　様（3年）　村枝　翼　様（2年）　福山 瑚乃香　様（1年）

習字及び標語の部

木本 直希　様（6年）　前田 ゆき　様（6年）　田添 蒼空　様（5年）

原田 佳純　様（4年）　武田 沙羅　様（2年）　津志田 乃瑛　様（1年）

歯と口の健康週間

熊本市　過去最多の2190人が集う

― 2018歯の祭典 ―

６月３日(日) 午前11時から午後３時まで、ウェルパルくまもとにて、歯と口の健康週間のイベントとして「2018歯の祭典」を開催した。

オープニングを熊本市いきいき健康大使である、女子小学生で結成された「ブックベア」のバンド演奏が飾り、その後祭典を開始した。

会場には歯科に関する12のブースが設置され、中でもむし歯の治療体験コーナー（人工歯へのＣＲ充填体験）や歯科衛生士さん体験コーナー、口臭測定コーナー、歯の相談コーナーなどに多数の人たちが集まり、また、他のコーナーも全体的に例年より参加者が多かった。特に子供たちにはコーナーを回ってスタンプラリーで３つのスタンプを集めるとお宝を貰える企画もあり、好評だった。最終的な参加者は過去最高の2190人に及んだ。

オープニングを飾ったブックベアの見事な演奏

歯医者さん体験コーナーで興味津々の子供たち

参加者にこの催しを何で知ったか、インタビューしてみると学校で配られたチラシや熊日新聞のお知らせ、すぱいすを見てきたと話していた。開催に向けて本会や関係各位の地道な努力が実を結んだように思う。

例年ながら、この祭典には共催として熊本市を始め、歯科技工士会、歯科衛生士会、他にも多くの方々のご協力、後援と協賛を得ることができ、ご尽力頂いた方々、出務された方々には、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

（温　永智）

宇土郡市　ショッピングモールの利点を生かして

― 歯と口の健康週間2018 ―

６月２日(土) 午後２時より、宇土シティーモールにて、歯と口の健康週間に伴う歯科相談等を開催した。会員、会員の医院のスタッフ、歯科衛生士会、関係業者が参加した。毎年、宇土シティーモールで開催しているが、会場側も協力的で数週間前から、買い物客への周知のためのポスター掲示、開催時には複数回アナウンスを行っていただいている。午後のみの開催であったが、107人の来場者があった。

「歯科相談」「フッ素塗布」「口臭測定」「位相差顕微鏡による口腔内細菌観察」「啓発パネルの展示」「デンタルケアグッズ等の配布」の各コーナーを設けた。特にフッ素塗布が人気で多くの親子連れが並び、少々お待たせする時間帯もあった。口腔内細菌観察のコーナーでは、体験された方は多少ショックを受けていたが、口腔内清掃へのモチベーションは随分あがったようであった。歯科相談では、

買い物客の多くも足を止める相談コーナー

子供の歯並びの相談から、義歯についてまで、さまざまな相談があった。日頃患者さんが疑問に思われている事が分かり、今後自院での説明の仕方などの参考になった。患者さんにますます貢献できるよう、研鑽の思いを新たにした。

（近藤　俊輔）

玉名郡市　健康はお口の関心から

― よい歯の広場 ―

6月9日(土)、玉名市保健センターにて毎年恒例の「よい歯の広場」が開催された。今年も歯科医師による健診、歯科衛生士による歯磨き指導・フッ素塗布、九州看護福祉大学による位相差顕微鏡＆唾液のpH検査、フッ化物洗口、子ども達に人気のミニゲーム&くじ引きと、盛りだくさんの内容で来場者をお迎えした。位相差顕微鏡や唾液pH検査で自分の口の中の状態を知ってもらい、歯科医師によるチェックとアドバイスを受けてよりお口の健康への関心を持ってもらえたのではないかと思う。小さな子供連れの家族がとても多く、歯科衛生士による親子そろっての歯磨き指導ではわきあいあいと楽しそうであった。九看大の学生さんたちの協力による手作りのミニゲームも子供たちに大人気だった。今年は南関町のキャラクター「なんかんトッパ丸」がサプライズゲストで登場し、会場を盛り上げてくれた。

位相差顕微鏡や唾液pH検査で口の中の状態を知る

会場を盛り上げる「なんかんトッパ丸」

今年は例年の2割増しほどの来場者数で大盛況であった。告知ポスターの院内掲示の徹底、近隣施設への掲示協力などの効果もあったと思う。今後も地域の方へのアピールを徹底し、来年以降はさらなる来場者の増加を期待したい。

（月精　秀和）

荒尾市　笑顔あふれる健康の祭典

― 第15回健康福祉まつり ―

6月3日(日) 午前9時30分より、荒尾市文化センターにおいて第15回健康福祉まつりが開催された。

本イベントは市内の様々な医療・介護・福祉関連団体で構成された地域保健医療福祉推進協議会と荒尾市健康福祉まつり実行委員会の主催で、多職種がそれぞれ専門性を活かして楽しみながら福祉と健康について考えることができるブースを運営しており、例年3,000人の来場者でにぎわう一般住民向けのイベントである。

荒尾市歯会も歯科衛生士会有明支部と共同で歯科健診やブラッシング指導、フッ化物塗布、位相差顕微鏡を用いての歯と口腔の健康相談、お子様向けの福引き、歯科治療パネル展示による啓発、デンタルケアグッズ展示＆配布、お口に関するアンケート＆懸賞といった企画を行った。

天候にも恵まれたこともあり、歯科ブースでは、健診受診者は461人、ブラッシング指導160人、フッ素塗布231人と小さな子供から高齢者までたくさんの方々が来場し、熱心に歯科について関心を示していた。

健診の順番待ちで会場に人があふれる

また、協賛業者、九州看護福祉大学口腔保健学科の学生の協力を得て、とても活気に満ちた笑顔の絶えない有意義な時間だった。

（田中　みどり）

山鹿市　天候にめぐまれ114人の来場者

― 2018歯と口の健康週間事業ＩＮ山鹿 ―

６月９日（土）午後２時より、山鹿市鹿本市民センター「ひだまり」に於いて、毎年恒例の「歯と口の健康週間事業」が開催された。例年より早い時期の梅雨入り宣言直後で天候が危ぶまれたが、天候にめぐまれたのは幸いであった。親子連れを中心に114人の来場者があった。来場者が最初に訪れる「歯や口に関する相談コーナー」では、乳幼児の参加が多いこともあり「乳歯が萌えてきたが歯磨きを嫌がる」「指しゃぶりをやめさせたい」「乳歯の歯並びが気になる」等の質問が目立った。

「こんな風に磨くんだよ。」

来場者は歯科医師によるアドバイスに熱心に耳を傾けていた。次に「歯科衛生士によるブラッシング指導のコーナー」へ移動し、歯垢染色とブラッシング指導を行った。兄弟や友達の鮮やかに染まった口元を見て笑い出す子も少なからずいて、和やかな雰囲気のなかで指導が行われていた。

ピースしながら笑顔でブラッシング

最後に「フッ素塗布」を行い、口腔ケアグッズを手にして会場を後にしていた。

受付時間終了までほぼ途切れることなく来場者があったが、先述したようにほとんどが乳幼児とその保護者であった。今後は学生や成人がもっと参加してもらえるような配慮が必要ではないかと感じた。

（赤星　一郎）

阿蘇郡市　２つの施設で講演会を開催

― 歯と口の健康週間事業 ―

６月９日（土）歯と口の健康週間事業が阿蘇市の「乙姫荘」と「ひのおか順心館」で行われた。

「乙姫荘」では、安光専務理事の司会の下、武藤会長の挨拶、講師の我那覇会員より「摂食咀嚼嚥下について」施設職員の方にむけ講演が行われた。摂食咀嚼嚥下を疑わせる症状またそのテストや頚部聴診法、経口摂取の介助・支援、摂食・嚥下訓練についてわかりやすく説明があった。

続いて歯科衛生士会の中島氏、北里氏、吉良氏より口腔清掃・嚥下訓練の実技指導が行われ、施設職員のみなさんが熱心に聞いておられた。

その後質疑応答が行われ、保健所歯科担当の北里氏から言葉をいただき、最後に市原監事から講評・お礼の言葉で閉会となった。

時間をずらして行われた「ひのおか順心館」では園田理事の司会の下、武藤会長の挨拶、講師の宇治理事より「口腔ケアについて」その必要性、誤嚥性肺炎との関係、口腔清掃・義歯清掃の方法、オーラルフレイルの話があった。

続いて、歯科衛生士会の岩見氏と大田氏より口腔清掃・義歯清掃の実技指導が行われた。

メモをとりながら熱心に聴講する施設職員の皆さん

またこちらでは実際に入所者さんに協力をいただいて口腔ケアをしているところを見ていただいた。このことは施設職員の方々にとってとても参考になったようだった。

その後質疑応答が行われ、保健所歯科担当の北里氏から言葉をいただき、甲斐田副会長の講評・お礼の言葉で閉会となった。

両施設の職員の方から、認知症があったりすると教科書通りのやり方では現場ではなかなかうまくいかないことが多いようで、こういった質問にも実際に入居者の方に実践することでわかりやすく質問に答えられたことはとてもよかった。有意義な講演会となった。

（馬谷　真）

下益城郡　来場者195人、イベント告知の重要性を認識

― 歯と口の健康週間イベント ―

６月２日（土）イオンモール宇城にて歯と口の健康週間のイベントが行われた。歯科健診・相談、フッ化物塗布、お口の中の酸性度チェックをメインとし、歯ブラシや子供向けにおもちゃのプレゼントコーナーを設け、来場者総数195人（大人95人、子供100人）だった。今年はメイン広場で開催することができたため、買い物客には目を引く場所であった。そのため、興味のある方には足を止めていただけた様だ。

子供たちの口腔内は比較的良好で齲蝕の罹患率はかなり低かった。フッ化物事業の効果ではないかと思われた。一方大人は控えめな方が多く消極的な印象を受けた。

今年はイオン側の宣伝が全く無かった為、前もってイベントを認知している方がほとんどいなかったこともあり、質問や悩みを相談される方は少なかった。昨年は地震の影響で、場所を移動したにもかかわらず、盛況であったのはＳＮＳ等での宣伝効果だったのだと思い知らされる結果となった。来年は宣伝活動にも力を入れる必要性を感じた年であった。

相談者に丁寧に説明する各会員

（田染　直子）

八　代　健口から健康へ

― やつしろ歯の祭典 ―

やつしろ歯の祭典が６月９日（土）に開催された。会場は、やつしろハーモニーホール、八代口腔保健センターと氷川町文化センターの３つの会場で行った。メイン会場となるハーモニーホールではイベント開始前に多数の来賓の方々のご臨席のもと、小学生図画ポスターコンクールの入賞者のセレモニーが行われ、本人そして保護者の方々にも喜んで頂けたと思う。会場内では会員による歯科相談、矯正相談、訪問歯科コーナー、スタッフによるブラッシング指導、フッ化物塗布、フッ化物洗口体験そして早産予防のDVDの上映及びパンフレットの配布を行った。

また、氷川町文化センターにおいても同様のセレモニーを午後から行い、その後会員、スタッフによる歯科相談、フッ化物塗布などを行った。

歯と口の健康週間という一般の方々への歯と口に関心をもってもらおうという主旨の事業において、多くの市民の方々に来場して頂き全ての会場の集計は1701人にのぼり、目的はある程度達成されたかと思う。

順番を待つ来場者に対応する会員にも熱が入る

終了後、ホワイトパレスにて会員及び協力頂いた関係団体を招き、反省会を行った。今後も八代地域の方々の歯と口の健康促進に努力していきたい。

（高野　明夫）

委員会報告

誤嚥性肺炎の誤解-歯科医科連携が支える肺炎の予防

― 歯科医科連携講演会 ―

総務・医療連携

6月18日（月）午後7時30分より、くまもと県民交流会館パレアホールにて、誤嚥性肺炎の誤解-歯科医科連携が支える肺炎の予防―と題し講演会が行われた。

主催は本会と熊本県保険医協会との共同で、歯科、医科、それぞれから誤嚥性肺炎について詳しく解説された。月曜の夜にもかかわらず、350人以上が参加し大変盛況であった。

まず、桜十字病院の安田広樹呼吸器内科医長が「誤嚥性肺炎は全身疾患である」と題して以下の内容を講演された。

誤嚥性肺炎とは、高齢者の肺炎の大半を占め、食べ物を誤嚥して肺炎になるイメージを持たれている。しかし、欠食中でも肺炎は起こり、その原因は唾液の誤嚥である（食事に含まれる細菌よりも口腔内常在菌の方が圧倒的に多い）。院内肺炎の誤嚥性肺炎は、原則として食事摂取とは関係なく発症すると考えるべきであり、絶食も胃ろう措置も絶対的な肺炎予防策とはならない。少量の唾液の誤嚥が原因のほとんどで、口腔内汚染、汚染した唾液を誤嚥、唾液の喀出困難、肺内での細菌増殖、肺炎を発症するというメカニズムである。嚥下障害ではなく、ADL、咳嗽力、免疫能、栄養状態などが関係する全身疾患と考えるべきである。その予防法としては、口腔ケア（歯科との連携）、経口摂取の推奨、薬剤の見直し、離床、臥床時のポジショニング、咳嗽力の強化、栄養管理などがあげられる。桜十字病院では「口から食べるプロジェクト」として、口腔ケア、生活リズムの獲得、ポジショニング、食事介助技術の見直しを実施されている。他院で経口摂取不可能と言われた患者が、このプロジェクトにより経口摂取が可能となり、食べる喜びを取り戻し回復につながった症例を紹介された。従来の「口から食べること」を禁止する医療ではなく、「口から食べること」を推奨する医療にシフトすることで、患者の回復や生きる希望へとつながることを強調された。

誤嚥性肺炎にについて正しい知識を身につける

次に、おおた歯科クリニックの太田宜彦院長が「間違っていませんか？その口腔ケア」と題して以下のことを講演された。

誤嚥性肺炎のリスク因子として摂食・嚥下機能低下があり、オーラルフレイル（口腔の虚弱）が食事摂取困難から生活機能低下につながる。これは可逆性のもので、早期に適切な介入を行えば健常に近い状態まで回復が可能である。また、医療現場での安易な「安静・禁食」の指示が医原性サルコペニア（筋肉減少）につながる。誤嚥性肺炎のリスク因子の１つである口腔内環境の悪化について、それを防ぐための口腔ケア法についても具体的に話された。経口摂取をしていなくても、人工呼吸器関連肺炎は起こりえるため、その対策として口腔ケア、カフ圧管理、呼吸器管理、呼吸器の早期離脱が必要である。

総義歯の患者でも口腔カンジダ症や舌苔の付着が起こるため、義歯清掃や粘膜清掃が必要であり、歯ブラシの種類やその効果、正しい清掃法、補助清掃器具や歯磨剤、口腔保湿剤について話された。

最後に回復期リハビリテーション病院と本会の病診連携の仕組みについて紹介された。

歯科、医科それぞれの立場から誤嚥性肺炎をとらえることができ、非常に有益な講演会であった。

（近藤　俊輔）

委員会報告

認知症の方の心をつかむケア技法「ユマニチュード」を学ぶ

― 第２回多職種連携に係る研修会 ―

センター・介護

６月30日（土）午後４時より「第２回多職種連携に係る研修会」が県歯会館４階ホールにて行われた。

昨年開催した「他職種でつなげる食支援」アドバンスコース（平成29年９月30日開催）で「優しさを伝えるケア技術ユマニチュード®」という演題にて東京都健康長寿医療センター研究所の伊東美緒研究員にご講演いただいたが、受講者から大変好評であったため、再びご講演いただいた。

今回は、定員をはるかに超える申込みをいただいたため、前半を歯科衛生士専門学院生を対象とし、後半を歯科医療関係者を含めた多職種を対象とした２部制の講演会となった。

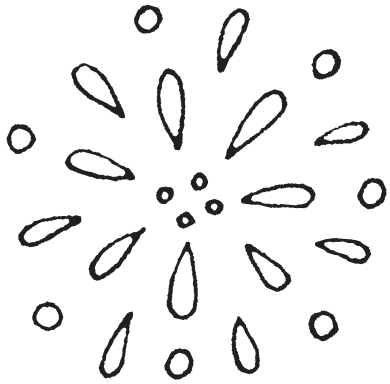
内容は、昨年同様にケアを必要とする全ての人の為にフランスで40年以上かけて研究実践されてきたユマニチュードという技術を入門編として特に認知症ケアの実践方法論をわかり易く動画を使いながらご教授頂いた。人としての尊厳を守る認知症ケアとして、ケアされる側の立場に立ち、見る（同じ高さで正面から視線を合わせ）・話す（おだやかに）・触れる（掴まない）・立つ（支える）の４本の柱について説明があった。

昨年大変好評であったため今年も開催

特に歯科診療の現場では、認知症の方が不安を抱きやすいといわれる、横になる・ライト（まぶしい）・マスク（こわい）・口を開ける（はずかしい）・両サイドから話しかけられる・尖った道具などの環境に気を付けて対処するべきか大いに参考になった。

最後に認知症の方の心をつかむテクニックとして、①出会いに準備②ケアの準備③知覚の連結④感情の固定⑤再会の約束の五つのステップも我々の口腔ケアにも大変参考になるものであった。２時間という短い講演であったが、出席者は熱心に聞き入っており、講師へ多職種の方からも沢山の質問がでるほど非常に有用な講演会となった。

（大坂　栄樹）



菊池郡市歯科医師会

全ての議案を承認可決

— 定時総会 —

６月16日（土）午後４時より国際ホテル菊池笹乃家にて、平成30年度定時総会が行われた。高木会長より「現執行部も折り返しを迎え、緊急性と重要度を念頭に入れた執務を行っていきたい」との挨拶があった。会務報告、委員会報告終了後、議事では第１号議案から第４号議案まで賛成多数で可決承認された。

総会後は田中県歯理事を迎え、点数改定における各種届出の注意点や詳細の説明をスライドを用いて行った。

古希の中山会員と還暦４人衆

議案を挙手にて可決

懇親会も同ホテルで行われ、来賓の木脇菊池保健所所長、浦田県歯会長、牛島県歯専務理事からお言葉を頂いた。同日は古希会員、還暦会員のお祝いも催され、古希の中山精文会員及び還暦の伊藤明彦会員、北川会員、豊福会員、高橋会員、竹田津会員、南会員の内、当日出席の４会員が高木会長よりお祝いの言葉と記念品が手渡された。

一度に６人の会員が還暦を迎えるにあたり、時代背景を深く感じ入る日となった。

（阿久根　秀典）

天草郡市歯科医師会

「８人の会員が、傘寿祝、還暦祝」

— 長寿のお祝いの会 —

６月16日（土）午後６時より、アマクササンタカミングホテルにて天草郡市歯会の「長寿のお祝いの会」が開催された。青砥会員、長山会員が傘寿を、勇会員、小田会員、竹中会員、富山会員、道脇会員、光永会員が還暦をめでたく迎えられた。長山会員、富山会員、道脇会員の３人は残念ながら欠席であった。傘寿を迎えられた青砥会員に紫、還暦を迎えられた方々に赤の頭巾とちゃんちゃんこを身につけて頂き、写真撮影の後、森口会長よりお祝いの言葉があり、各会員に記念品贈呈の後、ご挨拶を頂いた。それぞれまだ現役でおられ、長い間診療を続けられており、その歴史を感じられる思い出話にとても感銘を受けた。美味しい料理とお酒に舌鼓をうち、大変楽しい時間となった。

お似合いのちゃんちゃんこ姿

その後そのまま二次会場に場所を移し、遅くまで楽しい時間を過ごした。尊敬する８人の先生方のご健康と増々のご活躍をお祈り申し上げます。

（山本　康弘）

下益城郡歯科医師会

ワールドカップを気にしながら…

― 通常総会 ―

6月28日（木）午後7時30分より、松橋四川料理大明天にて通常総会が行われた。梅雨の晴れ間、蒸し暑い日ではあったが会員19人が参加した。まず吉永会長より挨拶をいただき、各委員会報告がなされた。三郡市学術講演会についての報告、健康診断、施設基準についての届け出に関する注意事項等が話題となった。続いて会計報告、監査報告へと続き満場一致にて承認された。

次に本年度、新しく入会された会員より挨拶をいただいた。その後、大森会員の乾杯の音頭とともに、同場にて懇親会へと移行した。先日行われた歯と口の健康週間のイベントについてや、施設基準の届け出についての話がメインで始まったが、次第にその日に行れたワールドカップ日本戦の話になり、いつになく熱く盛り上がった。そして試合開始時間前には閉会となった。

19人の参加者でキックオフまで盛り上がった。

（田染　直子）

玉名郡市歯科医師会

新入会員を迎えて

― 定時総会 ―

6月30日（土）午後4時より、玉名市民会館において平成29年度定時総会が開催された。来賓として牛島県歯専務理事と田中荒歯会会長をお迎えした。高﨑会長の挨拶のあと、慶事のお祝いとして、還暦（大林会員、規工川会員）、古希（稲森会員、島﨑会員、森本会員）、米寿（北田会員）、卒寿（城井会員）に記念品が贈られた。次に新入会員として松原新会員が紹介され、自己紹介および今後の抱負などを語ってもらった。

その後議長に森会員、副議長に鳴尾会員を選出し、29年度下半期の会務報告、平成29年度の会計報告がなされた。その後議事として平成30年度の事業計画案および会計収入支出予算案などの協議がなされ、すべて承認可決された。その他協議として、有明成仁病院との医科歯科病診連携、往診用ポータブルユニットの使用状況、広報写真のネット上での閲覧、医療苦情に対する注意点などが話し合われた。

様々な協議題が議論された

総会後の懇親会では来賓および新入会員交えて老いも若きも楽しく歓談し、互いの親睦を深め盛会のうちに終了した。

（月精　秀和）

リレー投稿 20

公園レビュー

菊池郡市　丸田 忠勝

娘「おやすみはどこ行くの？＾＾」
私「どこがいいと？」
娘「公園！」

毎週のように繰り返されるやりとりです。子供ができる前は、公園なんてただの無駄な空き地か何かくらいに感じていましたが、今となっては非常にありがたい施設です。娘が生まれてから、妻はほぼ毎日のように近所の小さな公園に通っていました。近所・無料・子供が喜ぶ、アクセスのハードルが低くて便利なんですね。

ただ娘ももう５歳手前、近所の「小さい公園」ではご満足いただけない。我が家は妻が運転をしないので、週末の休診日は待ちに待ったお出かけチャンスなのです。ここぞとばかりに「ゆめタウン！」「つるや！」「〇〇公園！」とリクエストが出るわけですが、最近は暖かくなり公園のリクエストが強いです。今回の投稿では、我が娘４歳が出かけて楽しかった公園ランキングを発表したいと思います！

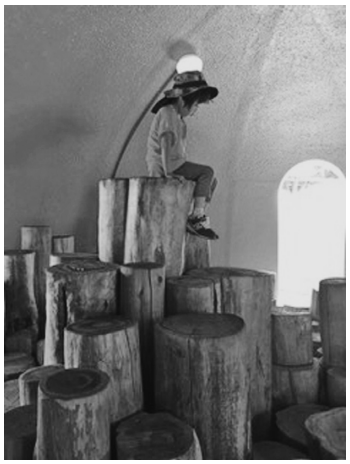
・第３位　鼻ぐり井手公園

菊陽町にある比較的新しい公園です。大規模遊具を中心に、綺麗なトイレ、自販機など揃っています。休日はとても賑やかで、広めの駐車場もいっぱいになることがあります。最近はかき氷の出店もあります。広い芝生やステージもあり、多目的に利用できます。

・第２位　坪井川緑地公園

おそらく県内最大規模の遊具を備えた無料の公園です。市内中心地でアクセスも良く、非常に人気のある公園だと思われます。楽しすぎて子供が帰りたがらないことと、駐車場から遊具までが遠いことに注意。小学生など比較的大きな子供も多く、小さなお子さんを遊ばせる時は付き添いをお勧めします。テント持参で昼寝する保護者多数。

・第１位　阿蘇ファームランド　元気の森


元気に遊ぶ子ども

有料アスレチックですが、最大のヒットでした。４歳くらいから大人まで楽しめ、コスパもよろしいです。地震の影響でまだ一部閉鎖中ですが、全部回るのに３時間くらいかかりました。全編アスレチックで、大人でもワクワクします。子供のテンションはMAX間違いなしです！休日は飲食店が長蛇の列なので、お弁当持参をお勧めします。同施設内の健康の森も、室内施設でおもしろいです。

子供がもう少し大きくなったら、美里町のフォレストアドベンチャーが気になっています。個人的には水前寺江津湖公園など非常に癒されますが、子供には不評でした（笑）。小さいうちはどんどん遊ばせて、失敗して、怪我をして、でも楽しんで！が大切かなと思っています。

次回は新樹会の今期会長を務める熊本市北区の渡辺康会員にバトンタッチいたします。

会　務　報　告

自　平成30年５月21日
至　平成30年６月３日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	５月23日	第13回理事会 【承認事項】 （１）新入会員の承認（２）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼 （３）名義後援の使用依頼　ほか 【議　　題】 （１）平成29年度㈲ケイ・デー・エム・ユー事業報告及び決算 （２）熊本歯科衛生士専門学院学則の一部改正案 （３）平成30年度定時代議員会議事の追加　ほか	浦田会長他大林理事を除く全役員
	24日	第１回副会長会議 （１）平成30年度表彰候補者	浦田会長、小島・渡辺・伊藤副会長、牛島専務理事
	25日	第126回都道府県会長会議（日歯会館）	浦田会長
	26日	月次監査 （１）H29年度決算・H30.４月末会計状況監査	中嶋・西野監事
	27日	県保険医協会定時社員総会懇親会（メルパルク熊本）	渡辺副会長
	28日	第17回警察歯科医会全国大会実行小委員会	浦田会長、小島委員長他10委員
	29日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会（九州厚生局熊本事務所）	椿常務理事
		第17回財務検討臨時委員会 （１）財務検討臨時委員会答申書の提出（２）答申に係る説明	菅原委員長他全委員、浦田会長、渡辺副会長、牛島専務理事、八木常務理事、竹下理事
	６月１日	電波の日・情報通信月間記念式典・祝賀会（ホテル日航熊本）	澤田事務局長
社会保険	５月26日	個別指導対策社会保険説明会 受講者：37名	桐野委員長、清藤・園田・市川委員
		社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者個別相談対応 （３）社保、学術、医療対策、センター・介護合同研修会　ほか	椿常務理事、田中理事、桐野委員長他13委員
	29日	上益城郡市歯会社会保険研修会（御船町カルチャーセンター）	田中理事
	６月２日	社会保険個別相談会 相談者：１名	田中理事、桐野委員長他１委員
	３日	社会保険、学術、医療対策、センター・介護合同研修会（施設基準届出に係る研修会） 受講者：315名	椿常務理事、永松・井上・田中理事、桐野・平井委員長、松岡委員他10委員
地域保健	５月21日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（みらいとしま保育園） 受診者：９名	歯科衛生士２名
		地域保健委員会 （１）「歯の祭典」の運営（２）高齢者のよい歯のコンクール審査（３）研究課題への対応	田上常務理事、赤尾理事、郷原委員長他６委員
	22日	歯と口の健康週間「図画・ポスター、習字、標語」審査	大林理事
	23日	協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（株式会社みらい） 受診者：21名	赤尾理事、歯科衛生士２名
	27日	歯と口の健康週間行事（人吉市）（イオン錦サンロードシティ店）	人吉市会員
	６月２日	歯と口の健康週間行事（下益城郡）（イオンモール宇城）	下益城郡会員
		歯と口の健康週間行事（宇土郡市）（宇土シティモール）	宇土郡市会員
	３日	歯と口の健康週間行事（荒尾市）（荒尾総合文化センター）	荒尾市会員
		歯と口の健康週間行事（熊本市）（ウェルパルくまもと）	熊本市会員
広　報	５月21日	広報小委員会 （１）会報６月報第２校校正（２）今後の会報作成等日程	竹下理事、永廣委員長他３委員
	24日	NHKテレメッセ打合せ （１）６月７日収録・放送分内容	竹下理事
学校歯科	５月22日	学校歯科委員会 （１）歯と口の健康週間標語	大林理事、河原委員長他４委員
	23日	第２回日学歯理事会（日歯会館）	大林理事
	24日	県学校保健会第１回総務委員会	浦田会長、渡辺副会長
医療対策	５月21日	医療相談	永松理事、岡田委員長他２委員
	30日	医療対策小委員会 （１）医療対策書の原稿の校正	永松理事、岡田委員長他３委員
センター・介護	５月29日	認知症対応力向上研修会打合会	小島副会長、松本理事
	６月３日	県自閉症協会口腔ケア講演会（くまもと県民交流館パレア）	松本理事
総務･医療連携	５月31日	有明成仁病院との病診連携覚書き締結（有明成仁病院）	伊藤副会長、牛島専務理事、宇治理事
学　院	５月21日	第１回学院校舎増築検討臨時委員会 （１）増築検討プロセス（２）学院校舎増設の必要性（３）増築構想　ほか	小島・伊藤副会長、牛島専務理事、八木常務理事、松本理事、林副学院長、弘中教務部長
	24日	第１回学院運営審議会 （１）平成29年度熊本歯科衛生士専門学院運営事業会計収入支出決算案及び同運営基金会計収入支出決算案の承認（２）証明書発行手数料（３）授業料未納学生の取り扱い　ほか	浦田会長、伊藤学院長、小島・渡辺副会長、牛島専務理事、田上・八木・椿常務理事、牧・林副学院長、弘中教務部長
	28日	学院研修旅行（至31日）（台湾）	牧副学院長他２名
国保組合	５月22日	全歯連第１回理事会（アルカディア市ヶ谷）	浦田理事長

其の 1

会員専用グループ保険制度のご案内

今年度から保険料がさらにお安く

最高「3000万円」の保障が無診査で加入OK

配偶者も1000万円まで加入OK

1年更新で配当金は毎年加入者へ還元

※昨年度実績40%還付

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

其の 2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

下記の保険会社と団体収納契約をしておりますので
会費明細引きがご利用できます。

個人でご加入した保険料が団体割引でお安くなり、
保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アメリカンファミリー生命　住友生命　損保ジャパンひまわり生命
第一生命　日本生命　富国生命　明治安田生命　メットライフ生命

[県歯事務局　TEL：096-343-8020　担当：奥村]　までご連絡ください

首都圏唯一の
「全寮制・中高一貫校」

医療後継者育成は
全寮制の秀明
（月曜登校・金曜帰宅）

秀明の卒業生は、優れた人物が高く評価され、医療の各界で活躍しています。

学校見学会（中学校）

9月23日（日）
11月11日（日）
※各日とも 12：00～

体験寮泊会（中学校）

10月6日（土）～7日（日）

学校見学会（高等学校）

8月29日（水）
10月20日（土）
11月23日（祝）
12月 8 日（土）
※各日とも12：00～

文化発表会（中学校・高等学校） 9月22日（土）・23日（日） 9:00～15:00

参加申込・資料ご希望の方は電話・FAX・ホームページで

高校生（通学制・寮制）も募集しています。

創立以来の輝かしい医・歯学部合格実績

医学部				歯学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	奥羽大学	105
北海道大学	3	自治医科大学	2	東北大学	1	明海大学	169
東北大学	5	産業医科大学	2	九州大学	2	東京歯科大学	86
名古屋大学	3	東京慈恵会医科大学	21	東京医科歯科大学	6	昭和大学	65
大阪大学	1	順天堂大学	57	新潟大学	3	日本大学（歯・松戸歯）	160
九州大学	1	日本医科大学	38	岡山大学	1	日本歯科大学(生命歯・新潟生命歯)	212
東京医科歯科大学	1	昭和大学	65	広島大学	2	神奈川歯科大学	93
千葉大学	7	日本大学	79	徳島大学	1	鶴見大学	99
筑波大学	2	東京医科大学	57	九州歯科大学	4	松本歯科大学	84
群馬大学	7	東邦大学	87	長崎大学	2	朝日大学	36
新潟大学	7	東京女子医科大学	16	鹿児島大学	2	愛知学院大学	20
防衛医科大学校	10	北里大学	85	北海道医療大学	46	大阪歯科大学	20
上記以外、国公立19大学78名、私立18大学950名				岩手医科大学	42	福岡歯科大学	2

※数字は1982年～2018年度の延べ人数※順不同

学校法人 秀明学園
併設：秀明高等学校
秀明中学校
〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792
☎ 049-232-3311
FAX 049-232-6614

ご存知ですか？

アサヒプリテック（株）だからできること

AMS（アサヒメタルアカウントシステム）という

金・白金・パラジウム・銀を、それぞれ今より高く売却する方法があること

アサヒプリテック（株）の分析能力が、世界的に評価されているということ

小さな資源を、あらたな資産へ

ASAHI PRETEC

アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部／〒100-0005　東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー

TEL(03)6270-1831　FAX(03)6270-1825　URL：http://www.asahipretec.com

■ 営業所／札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・大阪・神戸・岡山・広島・四国・福岡・鹿児島・沖縄

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
August 2018 No.746

笑顔ヘルC

9 主な行事予定 September

2日(日)	松風共催学術講演会
5日(水)	第28回常務理事会
15日(土)	シニア倶楽部（ホテルキャッスル熊本）
18日(火)	第29回常務理事会
26日(水)	第17回理事会
29日(土)	第１回各郡市会長・専務理事連絡会議

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集者のつぶやき

50歳を過ぎてからお酒が弱くなった。自分では酔っていないつもりだが、翌朝目が覚めると前日の行動、お金を払った記憶がない。

心配になって同席の方、お店の方にも電話で確認。「普通に会話をしてお金の支払いもしているよ」とのこと。

しかし、ついに先日酔ってガラスのドアにオデコをぶつけてしまった。人生初めての経験に、かすかな記憶の中、ショックと恥ずかしさでそのまま帰宅し、オデコを冷やして就寝。

翌日は少し痛いが、二日酔いかも？と自分に言い聞かせて早く就寝したが、夜中に目が覚め、夢か現実か天井がぐるぐる回っているではないか。もしかしたら頭蓋骨骨折、脳出血、血栓ができている？心配になって脳神経外科を受診し、レントゲン、MRIを撮られたが異常なしで一安心。ホッとする間もなく、2～3か月後に硬膜下出血になる人もいるとプレッシャーをかけられ、飲みすぎに注意と言われてしまった。

担当医曰く「理由は分からんけど男の人で良く飲む人に多かですもんな」と普段あまり饒舌でない先生がニヤリ…しかし委員会後の飲食が楽しみで30年近く委員会活動をしている。

医者の助言を守り今日の委員会も頑張って行こう。

皆さん飲み過ぎ注意ですよ!!（自分にもう一度言い聞かせる）まさしく私の事？　（T. K）

■発行日／2018年8月6日発行　■発行人／浦田　健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷